



こんにちは

日本共産党

矢部町地域版

岩崎ひろしです

2012年 春季号外

《発行》

市議員岩崎ひろし事務所

〒244-0816

横浜市戸塚区上倉田町 509-1

電話 865-0074 Fax865-0594

これで安心して通れます

矢部町の歩道（JR東海道線沿い）が整備されます



矢部町にお住まいの方をはじめ、JR東海道線沿いの矢部町の道路を利用される方々から、「道路拡幅が遅れている部分は、歩道がなく車道を歩くことになり大変危険。事故が起きないか、通るときに心配している。なんとかしてほしい」という要望が、手紙や電話などで岩崎ひろし事務所に寄せられていました。

岩崎ひろし事務所では、毎月、戸塚区役所、戸塚土木事務所、戸塚警察署、戸塚駅周辺開発事務所へみなさんからの要望を届け、交渉していますが、このたび、「要望があった歩道がない部分の整備を4月から始めます」との返事がありました。1日も早い歩道の整備が望まれます。

（写真は、歩道がなく、車道を通行する歩行者）

横浜駅周辺地下街の防災対策を

横浜市議会予算特別委員会で岩崎議員が林市長に要求

岩崎ひろし議員は、3月21日、横浜市議会予算特別委員会で横浜駅西口大改造計画について質問。横浜駅周辺の再整備は市全体のまちづくりの手本となるべき事業であるにも関わらず、「すすめ方、方法」に問題があることを指摘しました。

横浜駅周辺は明治末期から戦前にかけて埋め立てられましたが、その工法の詳細は不明です。また、地下街について、市は人や車の出入り口は把握していますが、換気口など開口部や民間ビルにかかわる部分など全体像は把握していません。また、地下街には海拔表示もありません。

岩崎議員は「エキサイトよこはま 22」は超高層ビルを林立させる華やかさとは裏腹に、足元（の地下街）をまったく見ていない計画であると指摘し、

実地調査・検証をおこなったうえで防災の立場から計画の見直しを求めました。

林文子市長は、大がかりな建設計画なのでしっかりと慎重に調査・検証してきちんとやらせていただくと答えました。

横浜駅周辺の防災問題については、2月24日のNHK総合テレビ「首都圏スペシャル 都市に生きる覚悟・大地震に備えて」で「大都市の地下街に迫る津波」と題して取り上げました。番組では、横浜駅周辺のビル街と地下街を襲う津波の様子をシュミレーションを駆使して詳細に報道。画面では、横浜駅周辺を大津波が襲い、大量の海水が地下街に流れ込む様子、地下商店街はもちろん、市営地下鉄にも重大な危機が迫る様子がリアルに映し出されました。